

# 植物多様性センターの「オニノゲシの多細胞の毛」

植物は観察する倍率で全く異なる表情を見せることがあります。たとえばオニノゲシ。名前の通り鋭いトゲが目立ち、触ってみると「痛っ!」。通常、そこで観察は終わりです。ところが、ロゼットの写真を拡大してみてもびっくり!ちぢれた白い毛は多細胞で、しかもカビの胞子そっくりにくびれているのです。ところが大人の葉は、毛が抜け落ちて強い光沢を放ちます。厳しい子ども時代を「柔の毛」と「剛のトゲ」の二刀流で守っているのですね。



ロゼット:特徴的な鋭いトゲとちぢれた白い毛が目立つ



ロゼットの毛:カビの胞子のように数珠状に細胞が連なる



花茎につく葉:ロゼットの毛はほぼ脱落し、光沢のある葉になる



頭状花:タンポポに似た黄色い舌状花の集まりを咲かせる